

県内就職へ情報収集

県合同説明会 学生370人参加



2020年卒の学生を対象に、秋田市の秋田ビューホテルで開かれた。県内就職を希

採用担当者の説明に耳を傾ける学生ら

望する大学生、短大生、専門学校生ら370人が参加し、それぞれに興味を持った企業の情報を集めた。県と秋田労働局の主催。

県内に本社や事業所を置く175社がブースを並べ、採用担当者が出向き、採用日程について説明した。待機スペースにいる学生に声を掛けたり、年間の休日数をボードで示したりする企業もあった。

あきた 経済

金型と粉末成形プレスの設計、製造を手掛ける小林工業(由利本荘市)で採用を担当する木村洋さん(45)は「工学系の学生のほとんどが中央志向だと聞く。県外出身者の採用も考えていく必要がある。ここ3年離職者がいないことや福利厚生面の充実ぶりをPRしたい」と話した。

山形市の東北芸術工科大3年の佐藤優香さん(21)は「北秋田市出身は、IT関係の企業のブースを中心に回った。「家族がいて住み慣れた秋田か東北で就職したい。就職サ

イトで見ていた企業以外も知ることができた。選考が始まるのに向けて準備を進めた」と意気込んだ。

(藤岡真希)